



池田高生徒が大学生と交流 「カタリ場」開催

5月8日、池田高校（富永）
永学校長、生徒83人で特
定非営利活動法人いきたす
（札幌市、江口彰代表理事）
の事業「カタリ場」が開か
れ、全校生徒と道内の大学
生30人が交流しました。

カタリ場は、高校生が年
齢の近い大学生と語り合う
ことで、自身の現在や未来
などを見つめ直すきっかけ
をつくるために実施。同校
では平成25年度以来2回目
の開催となりました。

この日、大学生を含む4
〜5人のグループに分か

れ、興味のあることなど
をテーマに座談会を実
施。その後、大学生が自
身の経験を踏まえたエビ
ソードを話し、生徒は家
庭や学校では普段聞くこ
とができない内容に、真
剣な表情で聞き入ってい
ました。

授業を終えた八重柏光
希さん（3年）は「大学
生と話をする貴重な機会
だった。親身に寄り添っ
てくれて、前向きな気持
ちになれた」と話してい
ました。

池田高校スケート部

部長 ^{しょうじ} 庄司 ^{つづき} 連月さん(3年)

★活動内容を教えてください

部員は12人(3年生7人、2年生2人、1年生3人)で、毎週月～土曜に練習しています。夏は体力や下半身の筋肉づくりとして、自転車やウエイトトレーニングなどを行い、冬は帯広の森屋内スピードスケート場で氷上練習を行っています。

★スケートをしていて楽しいこと・大変なことは？

2年生の時にシーズン中盤でタイムが伸び悩むことがあり大変でしたが、

(写真提供：池田高校)



それを乗り越えて、シーズン最後の大会である全国高校選抜スピードスケート競技会で自己ベストを更新した時は、うれしかったです。

★今後の目標は？

個人としては、インターハイで入賞することです。チームとしては、各部員が自己ベストを更新するなどして、笑って終われる冬にすることを目標に日々の練習に励んでいます。



★町民の皆さんにスケート部をPR!

池田高校スケート部は、指導者や練習環境など、いろいろな面で他の学校よりも恵まれていると思います。また、先輩方には世界で活躍している選手も多く、少しでも追い付けるよう、頑張っています。スケート部への応援、よろしくお願いします!!



5月着任の 池田町地域おこし協力隊を紹介します



プロフィール

氏名 いのうえ かずたか 井上 和享
 年齢 54歳
 出身 千葉県船橋市
 経歴 高校を卒業後、放課後等デイサービスや自然学校など、福祉職・教育団体での勤務を経て、協力隊へ

担当ある仕事 高校魅力化推進員

内容 企画財政課企画調整係に所属し、池田高校の魅力化やコミュニティ・スクール開設に向けて、地域コーディネーターとしての活動も行います

任用期間 1年
 (更新により最長3年まで)

▶ 協力隊応募のきっかけは

多くの縁をいただきながら日本のあちこちを訪ね歩いてきましたが、元気で明るいまちには子どもたちの笑顔があり、「世界は子どもでできている」と思うようになりました。これまでの出会いや学びを子どもたちと分かち合いたいと考えていたところ、池田町が教育関連の地域おこし協力隊を募集していることを知り、応募しました。

▶ どのような活動に取り組みたいか

着任してから、町や高校の魅力に感動しっぱなしの毎日です。この感動を、日々の暮らしや出会いを大切にしながら、町にとって高校がどれだけ重要な存在かを「探究」する活動につなげたいです。また、「子どもたちに旅を♪」をモットーに、高校の魅力の発掘はもちろん、皆さんの声を聴きながら、地域全体の教育の魅力化にも貢献したいと思います。

▶ 町民の皆さんに一言

町内をあちこち訪ね歩いて、皆さんの魅力にも触れたいです。ぜひ一緒に池田高校の魅力発掘のお手伝いをさせてください。